

・地域の面的再生・地域活性化につながる多様なサービスの提供

PFI事業の先進的モデルケース～地域完結型PFI事業：県立病院整備・運営事業の取組～

(金融機関名)山陰合同銀行

1. 動機(経緯)	<ul style="list-style-type: none">・自治体の厳しい財政状況の中で社会資本整備を効率的に推進する手段として、当行は予てよりPFIに着目。地域による地域のためのPFIとして「地域展開型PFI」を取組姿勢としてきた。・本事業はまさに「地域展開型PFI」の実践及び当地におけるPFIの発展・普及を支援する絶好の機会と捉え、積極的な関与を実施。
2. 概要	<ul style="list-style-type: none">・老朽化、狭隘化した県立病院の移転新築事業。・施設整備及び15年間にわたる施設維持管理、患者搬送、院内清掃を民間の資金とノウハウを用いて実施。・新設病院のPFI事業としては国内3例目で、学校併設型精神病院としては国内初の取組。・事業期間の総投資額が88億円を超える大規模事業。・建設業者3社を中心とした地元企業によるコンソーシアムが落札。金融機関に至るまで、関係する全ての企業が地元企業で構成する「地域“完結型”PFI事業」が実現。
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none">・「地域完結型PFI事業」の先進事例として全国の注目を浴びる中、平成20年2月に供用開始。・当行は地元金融機関として入札支援、シンジケートローン組成におけるアレンジャー及びエージェントを務め、発案段階から事業終了までの永続的な関与を実施。・シンジケートローンは当行を含めた地元金融機関3行で組成し、「金融の地産地消」を実現。・本事業を契機に県内でPFIを検討する自治体も相次ぎ、益田市においてクリーンセンター整備・運営事業がPFIにて取組まれた(平成19年10月供用開始)。その他自治体も引き続きPFIの活用を検討中。・当行の取組姿勢である「地域展開型(完結型)PFI」が評価され、平成19年8月に内閣府PFI推進委員会にて取組事例を講演。
4. 今後の予定(課題)	<ul style="list-style-type: none">・本事業の安定的な遂行を目的に、事業のモニタリングや事業者の資金管理を徹底するとともに、事業者及び島根県とのリレーションを事業期間中にわたって維持継続していく。・自治体及び地元事業者への勉強会等、PFIの啓発活動を引き続き実施し、社会資本整備の促進及び公共サービスの向上を実現する有効な手段としてPFIの導入検討を働きかける。

P F I 事業の先進的モデルケース ～ 地域完結型 P F I 事業：県立病院整備・運営事業の取組～

- ・ 本事業に関係する企業が、全て地元企業で構成される「地域完結型PFI」。
- ・ シンジケートローンも地元金融機関で組成。「金融の地産地消」を実現。
- ・ 当行は入札支援からシンジケートローン組成、エージェント業務まで全期間にわたる関与。

